

英国のEU離脱（ブレグジット）の国民投票に向けて

2016年6月



ジェローム・シャルパン
ポートフォリオ・マネジャー

選挙結果は拮抗することが予想されることから、投資戦略は現状を維持する方針です。

英国での国民投票をグローバル市場の参加者は主流ではないイベント・リスクとして捉えています。しかし、国民投票が来週に迫るなかで神経質になり始め、一つ一つの世論調査結果を注視してきています。

EU存続よりもEU離脱の可能性が高まっているように見えますが、運用ではこの結果を予想するのではなく、このイベントを活用した投資を行っていきます。

EU存続となった場合、市場では安堵のため息がもれるでしょう。欧州周辺国のスプレッドはかなり拡大してきており、例えばイタリア国債のスプレッドは年初来で50bps拡大しています。そのため、この安堵感を背景にスプレッドは30から50bps縮小する可能性があります。一方社債では、欧州のCDSインデックスは、米国のCDSインデックス、欧州及び米国の現物債と比較してスプレッドの拡大が見られたことから、20から25bpsの縮小の可能性があると考えています。さらに、英ポンドは米ドル及びユーロに対して、約10%程度上昇する可能性があります。

ブルーベイの見方は多くの要因に基づいており、それらの要因が重なる場合、経験豊富な運用担当者には強い意志が必要となります。

運用ではこの結果を予想するのではなく、このイベントを活用した投資を行っていきます。

EU離脱の結果となった場合、状況は混乱しボラティリティが高まることが予想されます。欧州のCDSインデックスは100から110bpsにまで拡大し、株価は5%以上下落し、英ポンドは10%程度下落すると予想しています。英国は政治危機に陥る可能性が高まるでしょうが、ユーロ圏の政策当局や関係機関は守りを固め、銀行を支援し、国債及び社債の下支えとして資産購入プログラムを活用するでしょう。

結果の如何に寄らず、そしてその結果は拮抗することも予想されますが、ポピュリスト、ナショナリスト、反体制派の声は強まり、欧州の各機関が欧州の人々に対して信頼に足る機関になるようにプレッシャーが強まるでしょう。英国での国民投票を受けて、欧州での政治リスクは今後数カ月間で高まることが予想されます。

当面の間、投資方針についてはこれまでとっている戦略を維持し、投票結果による大きな下落や反発からの影響を受けにくいようにする方針です。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
関東財務局長（金商）第 1029 号
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点（2016年6月20日）のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡しますので、当該書面等の内容を十分に読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。